

平成30年10月3日付【日本下水道新聞】
関東支部<水コン協関西技術講座>
岩崎室長が管路マネジ事例紹介

岩崎室長が管路
マネジ事例紹介

水コン協関西
技術講座

全国上下水道コンサル
タント協会関西支部（北
秀文支部長）は9月27日、
吹田市内で技術講座「下



北支部長

水道事業における管路マ
ネジメントについて」を
開催し、事業体関係者な
ど約80人が参加。管路マ
ネジメントの最新動向や
技術的知見のほか、事業
体の取組みなどの情報共
有を図った。

冒頭あいさつで北支部
長は「管路管理は官民問
わず参加者の関心が高
い。下水道法改正以降、
下水道には自立と持続の
追求が求められている。
マニュアルに沿ったマネ

ジメントではなく、さま
ざまな側面からの総合的
な検討を行う際に、本講
座での知見が役立てば」
と期待を寄せた。

講座では、講師として
岩崎宏和・国土技術政策
総合研究所下水道研究部
下水道研究室長と、齋藤
正明・京都府環境部水環



事業体ら約80人が参加

境対策課副主査がそれぞ
れ登壇。

岩崎室長は「下水道管
路マネジメントについ
て」と題し、管路施設の
全国的な現状から、劣化
予測や効率的な調査手法
など最新動向を説明し、
「処理施設と比較しても
調査が難しい管路施設だ
が主体性を持って点検・
調査を行うことが重要」
などと呼びかけた。